

各位

会員増強について

年金受給者協会連合会

会員増強企画担当 山田 繁樹

<人口比率：将来予測>

○ 65 歳以上の人口比率が現在総人口の 27.6%で 3,496 万人。13 年後の 2030 年には、3,716 万人となり、初めて 3 割を超える 31.2%と予測できます。

* 1966 年：日本が初めて人口が 1 億人突破（65 歳以上率：6.6%）。2053 年（36 年後）1 億人切れる（65 歳以上率：38.4%：2.6 人に 1 人）

<将来の課題・目標>

○ 3 人に 1 人が 65 歳以上という異次元の世界に突入する前に「精神的にも身体的にも高齢者が生き生きと安心して暮らせる社会」の基盤を築く必要

↓

価値ある基盤とは

- ① 社会との関係性の確保
- ② 情報と、参加する場の提供

<参考>

- 現役世代と高齢者世代との圧倒的違い＝社会的関係性が激減⇒孤立化⇒認知症・高齢者うつ
- タクシー運転手（70 歳前後）「うちの父親、おたくの会員だよ！俺が年会費払ってんだ！だって親父宛手紙は、おたくからしかないから！寝たきりだけど、隅から隅までよんでるよ！」

<年金受給者協会の存在意義>

① 地方自治体も問題意識として持ち、様々な対策を練ってはいるが、「高齢者が生き生きと安心して暮らせる社会」の実現に目標を特化し、ボランティアに支えられた県単位の組織は当協会以外ない。

- 高齢者向け機関紙の発行
- 高齢者向けスポーツ大会・福祉講座・研修会・ボランティア活動・旅行の実施その他

② 60 万人の会員を代表しての陳情活動

*ある政治家の弁「陳情活動で重要なのは、その内容もさることながら、①陳情者の身元の確かさ（確かな組織か、人か）②陳情者の社会的影響力の 2 点です」

<参考>

- 新潟県：伊奈元会長「この組織は絶対に必要です。0 にはしてはいけない。0 から立ち上げることは、もう不可能です。0 から立ち上げる労力より、今の 1 ある力を 10 にする方がよっぽど楽だ。なんとか皆さんの力で会員を増やしてほしい」（会長退任パーティーにて）

<価値ある組織（受給者協会）を強化するための条件>

- ① 会員を増やす
- ② 財務力をつける

*理想的には、会員を増やすことによる会費収入の増加で財務基盤を強化する。

<会員増強のためのお願いと目標>・・・キャンペーン期間の設置

- ① 1対1の対話の中でしか「会員」は増えない（大前提）
- ② 60代の方を中心に新規加入のお話をしていただく（70代以上も可）

*当協会においての60代は民間企業に於ける20, 30代に相当する

- ③ 目標は、指導員研修会の参加者数

<キャンペーン期間>

1月17日（金）から12月8日（金）までの3週間

*ご紹介いただいた方には、賞品提供

<その他>

- 〇 サービスガイドを活用すれば、年間会費分以上の経済的価値を生むが2次的施策と捉える。（各企業が囲い込み戦略を追求する中、同じ土俵で勝負はしない）あくまでも、社会的価値のある非営利団体であることを認識する
- 〇 高齢化社会の本質に対する理解・・・いくら望んでも得られない社会（各国が目指す理想社会）
（高齢化社会実現の為に10の条件）
 - ① 戦争が無い ② 言論の自由が保障されている ③ 食料が確保されている ④ 治安が良い ⑤ 教育制度が整備されている ⑥ 医療施設が整備されている ⑦ 情報共有が実現している ⑧ 飲み水が確保されている ⑨ 国民主権（独裁体制ではない） ⑩ 上記整備をチェックする機関が存在する（非営利組織）
- 〇 当企画が成功すれば、将来的には、60代個人々々を中心とした数名から20名程度のグループ育成（アメンバー経営）・・・現在企画中
- 〇 有効な広報の手段がない以上、会員の減少傾向は今後も継続すると思われる。過去における行政と一体化した時代が過ぎ、真のボランティアの力が試される。